

手作りでおいしいみそ作り



空気を抜きながら「みそ玉」を作る参加者

市内で収穫された米などを使ったみそ作り体験が2月10日、四季彩館で行われました。NPO法人京・流れ橋食彩の会の指導で、作り方を教えてもらおうと開催。手作りの良さと味の評判が口コミなどで広がり、参加者もリピーターが大増。使う材料は、同会が販売するみそと同じで、市内の学校給食でも使われています。

市内の米を使用 完成は秋

した米、大豆、こうじなどの下地をよく混ぜ合わせます。空気を抜きながらソフトボールくらいの「みそ玉」を作り、桶に敷き詰めて、塩を入れた袋で重しをすれば、手作りみその完成です。

出来上がったみそは一人あたり5kg。自宅に持ち帰り、今年の秋ごろまで熟成させます。参加者は「材料を混ぜるのが大変」「早くみそ汁や粕汁にして味わいたい」と体験を振り返っていました。

火災から文化財を守ろう!

石清水八幡宮で消防訓練

石清水八幡宮で2月13日、市消防職員と八幡宮の神職で結成した自衛消防隊による消防訓練が行われました。

昭和22年2月12日の火災で社務所が全焼し、貴重な文化財を失ったことを教訓に、毎年2月に合同で行っています。

約60人が参加。本殿付近の林から出火し負傷者が出たとの想定で、避難や放水

訓練などを実施しました。

消防署に通報後、隊員が消火器を使って初期消火。負傷者やご神体に似せた箱も本殿から救出。そして、駆けつけた市消防職員と連携し、火元に向かって一斉放水しました。

その後、隊員らは市消防職員から、消火器の使い方や防火管理の心得を学び、文化財保護の思いを新たにしていました。



一斉放水を行う市消防職員たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

英語劇「アンパンマン」を演じる男山第二中学校生



英語学習の成果披露

元氣いっぱい「英語フェスティバル」

市内の子どもたちが、日ごろの英語学習の成果を披露する「第10回英語フェスティバル」が2月4日、市文化センターで開かれました。

市教委が、子どもたちに英語の楽しさや表現力向上に役立ててもらおうと開催。幼稚園児から高校生まで2700人が出演し、この日まで練習を重ねてきた劇や合唱などをステージ上で演じました。

スタートは八幡第四幼稚園園児の発表。音楽やリズム

に合わせて、歌やダンスなどを元氣いっぱい演じました。

小学生は、英語劇「スイミー」を表現豊かに演じたり、漢字の書き順を英語で教えるなど、授業風景を題材にした発表を繰り広げました。

中学生や京都八幡高校生は、朗読や紙芝居などを披露し、身振り手振りや情感を込めた語り口で観客を魅了。会場から惜しめない拍手が送られていました。

こわ～い赤鬼あっちいけ!

2月3日は節分です。八幡幼稚園で恒例の豆まきが行われました。園児たちは「鬼は外、福は内」と元気な声を園庭に響かせ、節分行事を楽しみました。

毎年、市商工会青年部が地域貢献の一つとして幼稚園などに出向き、鬼に扮して節分行事を盛り上げています。「ドーン、ドーン」と響く大太鼓の合図で園庭に現れた鬼は、おたけびを

あげて園児に迫りました。あまりの迫力に大泣きして、先生の後ろに隠れる子ども。「頑張れ」と励まされ、豆を握りしめて鬼に立ち向かいました。

最後に、鬼が園児に歩み寄って仲直り。握手や「さようなら」とあいさつをして、鬼とお別れしました。

大庭遼東君(5)は「怖かった。どこかに行ってくれてほっとした」と、笑顔を見せていました。



赤鬼の登場におどる園児